

飯山市地方創生総合戦略会議（第6回）顛末

委員 出席者：18人 欠席者：7人

日時 平成27年10月30日（金） 15時30分～

場所 飯山市役所 全員協議会室

1 開会（進行：企画財政課長）

2 市長あいさつ

3 報告事項

- (1) 10/6（火） 総合戦略（案）等に係る区長会協議会との意見交換
- (2) 10/19（月） 総合戦略（案）等に係る飯山商工会議所及び北信州みゆき農業協同組合役員等との意見交換
- (3) 10/26（月） 総合戦略案（案）等に係る飯山市議会議員（飯山市議会地方創生研究会）との意見交換

4 協議事項（進行：会長）

(1) 飯山市総合戦略（案）について（資料1）

（事務局）資料1について説明

(2) 飯山市総合戦略アクションプラン（案）について（資料2）

（事務局）資料2について説明

(3) 質疑・意見交換

（会 長）戦略策定の目標期限である10月を迎えた。本日の会議が最後となる。資料1及び資料2についてご意見をいただきたい。

（委 員）総合戦略の施策に記載されている地域医療の確保の取組みをぜひお願いしたい。

（委 員）ふるさと納税が好調で飯山市の米の知名度が上がったと思うが、農家とすればやはり一般の流通ルートで売れるものにしていく必要があるのではないか。市場に認めてもらえるブランド力の向上に向けて本気になって取り組んでほしい。

（委 員）長野県の戦略が先日完成したので、資料編にある概要版は案ではなく正式なものを添付すべきだ。

（委 員）この会議の委員となって地域の状況を知り、地域のことを考える良い機会となった。これからもこういう機会があると良い。飯山市で活躍したいという若者が増えるきっかけになる。継続してほしい。

（委 員）安心して子育て、安心して暮らせる地域づくりについてこれまで以上にスピード感をあげて取り組んでほしい。女性の声をこれからも行政に届ける場づくりをしてほしい。

（委 員）アクションプランは今後検討していくということだが、「他のまちよりいいよね」といわれる飯山市となるような具体的な事業が盛り込まれていくことを望む。

（会 長）基本方針に関して、もっと飯山らしさを出したい。飯山市には料理、農業、伝統産業、更にはコンピュータ等の電子機器など様々な分野での技術力がある。豊富な自然とあわせてこの辺をアピールできるように、飯山市の特色を出したい。

（委 員）若い人たちの感性を生かし、その意見を参考に検討していったらどうか。

（委 員）これまで議論を進めてきて、今になって基本方針の変更という訳にはいかない。それでは本日示された案で決定できなくなってしまう。

（会 長）基本方針の変更ではなく、当市総合戦略のキャッチフレーズとして今後検討し、委員の皆様にもお示ししていきたい。

（委 員）高卒生や高卒後進学した若者が地元に戻り、観光、スキー場、農業など飯山市の産業を支える分野で就職できるような環境づくり、民間との連携についてアクションプランの中に盛り込んでほしい。

（事務局）アクションプランで事業化できるか今後検討させていただきたい。

(4) 今後の予定について

(事務局) 本日付でお示しした資料により飯山市総合戦略は完成ということにさせていただきます。
策定後の予定は次のとおり。

- ① 総合戦略策定の報告、公表等
国・県への報告 (10/30)
飯山市ホームページ (10/30)・広報飯山への掲載 (11月号)
プレス・リリース (10/30)
- ② 総合戦略の効果検証
組織：飯山市地方創生総合戦略会議委員に参画をしていただく予定。
時期：今年度中(平成28年3月頃)

(5) その他 特になし。

5 その他 特になし。

6 閉会 16:35